

提出日を記入してください。

令和 年 月 日

秋田県知事

秋田県高等学校等専攻科奨学給付金受給申請書

次の3点を確認の上、□にレ印を付けてください。

- ☒ この申請に間違いありません。
- ☒ この申請は、秋田県の求めに従いその全額を即時返還します。
- ☒ 私は、秋田県立高等学校等専攻科奨学給付金の申請は行っておりません。

（記入に当たっては、別紙の「記入上の注意」及び「留意事項」をよく読んでから記入してください。）

高等学校等専攻科奨学給付金の受給を申請します

申請者住所等	〒 010-0000	申請者は、生徒の父母等となります。		きた たろう
	秋田市山王三丁目 1－1	申請者氏名	秋田 太郎	
Tel (000) 000 - 0000				
生徒との関係	父母、主たる生計維持者 ・ 生徒本人 ・ その他 ()			

【記入が必要となる様式について】
(次の①～④のいずれかの□にレ印を付けて、申請に必要な様式に記入してください。様式1－3はすべての申請で記入が必要な様式です。別紙は)

①	☐	⇒ 様式1－2【1】・【2】、様式1－3 を記入してください。
		【高等学校等専攻科修学支援金支給決定（支給予定）通知書を添付】
②	☒	申請者の在住する都道府県と生徒が通う学校の所在する都道府県が異なります。
		⇒ 様式1－2【1】・【3】・【4】、様式1－3 を記入してください。 【国籍・在留資格等が確認できる書類を添付】
③	☐	きょうだいで、通う学校の所在する都道府県が異なります。
		⇒ ①に該当する生徒：様式1－2【1】・【2】、様式1－3 を記入してください。 ⇒ ②に該当する生徒：様式1－2【1】・【3】・【4】、様式1－3 を記入してください。 【①と②の書類をそれぞれ添付】
④	☐	いずれを選択してよいかわかりません。
		⇒ 様式1－2【1】・【3】・【4】、様式1－3 を記入してください。 【国籍・在留資格等が確認できる書類を添付】

【1】対象となる生徒について

ふりがな		あきた こまち		生年月日	平成	19年 6月 1日					
氏名		秋田 こまち			令和						
在籍する 専攻科 高等学校等	学校の名称	〇〇県立〇〇高等学校			現在在学している学校について記載してください。						
		国立・公立・私立									
	学校の種類・課程・学科： 高等学校専攻科										
	学校の所在地	〇〇	都道府県	〇〇	市区町村	〇〇町1－1					
	在学期間	令和8年 4月 1日 ～									
過去の高等学校等専攻科における在学期間		学校	過去に在学した学校がある場合は、記載してください。			学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数				
		なし				1回	2回	3回	4回	不明	
		☐				☐	☐	☐	☐	☐	
		立				～	年	月	日		
学校				・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数						
なし	1回	2回	3回	4回	不明						
☐	☐	☐	☐	☐	☐						

【2】高等学校等専攻科修学支援金支給決定（支給予定）通知書の添付について

（生徒の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次に該当する場合は、□にレ印を付けてください。）

生徒本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。	
☐	秋田県教育委員会より高等学校等専攻科修学支援金の認定を受けているため、在学する学校または秋田県において専攻科修学支援金の認定状況を照会し、秋田県高等学校等専攻科奨学給付金の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認に利用することに同意します。また、基準日において高等学校等専攻科修学支援金の認定を受けません。
☐	高等学校等専攻科修学支援金支給決定（支給予定）通知書を添付します。

【3】生徒の国籍・在留資格・在留期間等について

（次のいずれかの該当する□にレ印を付けてください。）

（1）生徒本人の国籍を以下のとおり申請します。			
①	☒ 日本国	いずれかにレ印を付けてください。 「日本国以外」を選択した場合は、(2)のいずれかにレ印を付けてください。また、必要事項を記入してください。	
②	☐ 日本国以外		
（2）生徒本人の在留資格・在留期間等について			
③	☐ 特別永住者		
④	☐ 永住者		
⑤	☐ 日本人の配偶者等	在留期間(満了日)	(西暦) 年 月 日
⑥	☐ 永住者の配偶者等		
⑦	☐ 定住者	在留期間(満了日)	(西暦) 年 月 日
		日本国に永住する意思の有無	☐ はい（あり） ☐ いいえ（なし）
⑧	☐ 家族滞在	在留期間(満了日)	(西暦) 年 月 日
		日本国の小学校の卒業の有無等	☐ 卒業した ☐ 卒業していない
		小学校名	
		所在地	都・道・府・県
		日本国の中学校の卒業の有無等	
		中学校名	
		所在地	都・道・府・県
		日本国の高等学校の卒業の有無等	☐ 卒業した ☐ 卒業していない
		高等学校等名	
		所在地	都・道・府・県
		日本国で就労する意思の有無	☐ はい（あり） ☐ いいえ（なし）
⑨	☐ 上記以外の在留資格（留学等）	在留期間(満了日)	(西暦) 年 月 日

【4】生徒の国籍・在留資格・在留期間等の確認書類について

（生徒の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等を確認するため、次の①～④のいずれかの口にレ印をつけてください。）

生徒本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。			
①	☒ 「住民票の写し（市町村の発行したもの。原本。コピー不可。）」を添付します。 ※国籍が「日本国」以外の生徒：国籍・在留資格・在留期間等が記載されたもの。		
②	☐ 「特別永住者証明書の写し（コピー）」を添付します。	いずれかにレ印を付けてください。 在留資格が「家族滞在」の場合は、⑤、⑥、⑦も ご確認ください。	
③	☐ 「在留カードの写し（コピー）」を添付します。		
④	☐ 以下に該当するため、①～④のいずれの書類も添付します。		
	以下のすべてに該当	かつ	以下のいずれかに該当
	・令和 8 年 3 月 31 日以前から 引き続き在学している者 ・国籍が「日本国以外」 ・「生活保護受給世帯 （外国人を含む）」又は 「令和 8 年度の住民税が非 課税である世帯」		・在留資格が「定住者」で、日本国に永住する意思がない場合 ・在留資格が「家族滞在」で、日本国で就労する意思がない場合 ・在留資格が「家族滞在」で、日本国の小学校、中学校及び 高等学校等を卒業していない場合 等

（在留資格が「家族滞在」であって、下記のすべてに該当する場合は、⑤～⑦の口にレ印を付けてください。）

・ 【 3 】 （ 2 ） ⑧で「日本国の小学校、中学校及び高等学校を卒業した」にレ印を付けた。	
・ 【 3 】 （ 2 ） ⑧で「日本国で就労する意思がある」にレ印を付けた。	
⑤	☐ 「日本国の小学校の卒業証書の写し（コピー）又は卒業証明書」を添付します。
⑥	☐ 「日本国の中学校の卒業証書の写し（コピー）又は卒業証明書」を添付します。
⑦	☐ 「日本国の高等学校等の卒業証書の写し（コピー）又は卒業証明書」を添付します。

【生計維持者の収入等の状況について】（該当する□にレ印を付けてください。）

（１） 次の者の課税証明書等及び（記入上の注意【生計維持者の収入等の状況について】ニに該当する場合）扶養誓約書、（記入上の注意【生計維持者の収入等の状況について】ホに該当する場合）扶養親族申告書を提出します。

①	☒	父母 2 名分	(1)の該当するいずれかの□にレ印をつけ、(2)に課税証明書の写し等を提出する父母等の氏名と続柄をご記入ください。
②	☐	父母 1 名分 ・離婚、死別等により父母が 1 名の場合 ・父母が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、父母のいずれの課税証明書等を提出できない場合 等 ・満18歳となる日の前日において里親等に委託されていた場合、児童養護施設等に入所していた場合、そのほか社会的養護が必要と認められる場合は③又は④のいずれかの□にレ印を付けてください。	
③	☐	生徒の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者） 1 名分 ・父母が存在しない場合 等	
④	☐	生徒本人 ・父母又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合 等	

【生計維持者の氏名及び生徒との続柄について】

（２） 課税証明書の写し等を提出する生計維持者の氏名及び生徒との続柄を記入してください

ふりがな	あきた たろう	生徒との続柄	ふりがな	あきた はなこ	生徒との続柄
氏名	秋田 太郎	父	氏名	秋田 花子	母